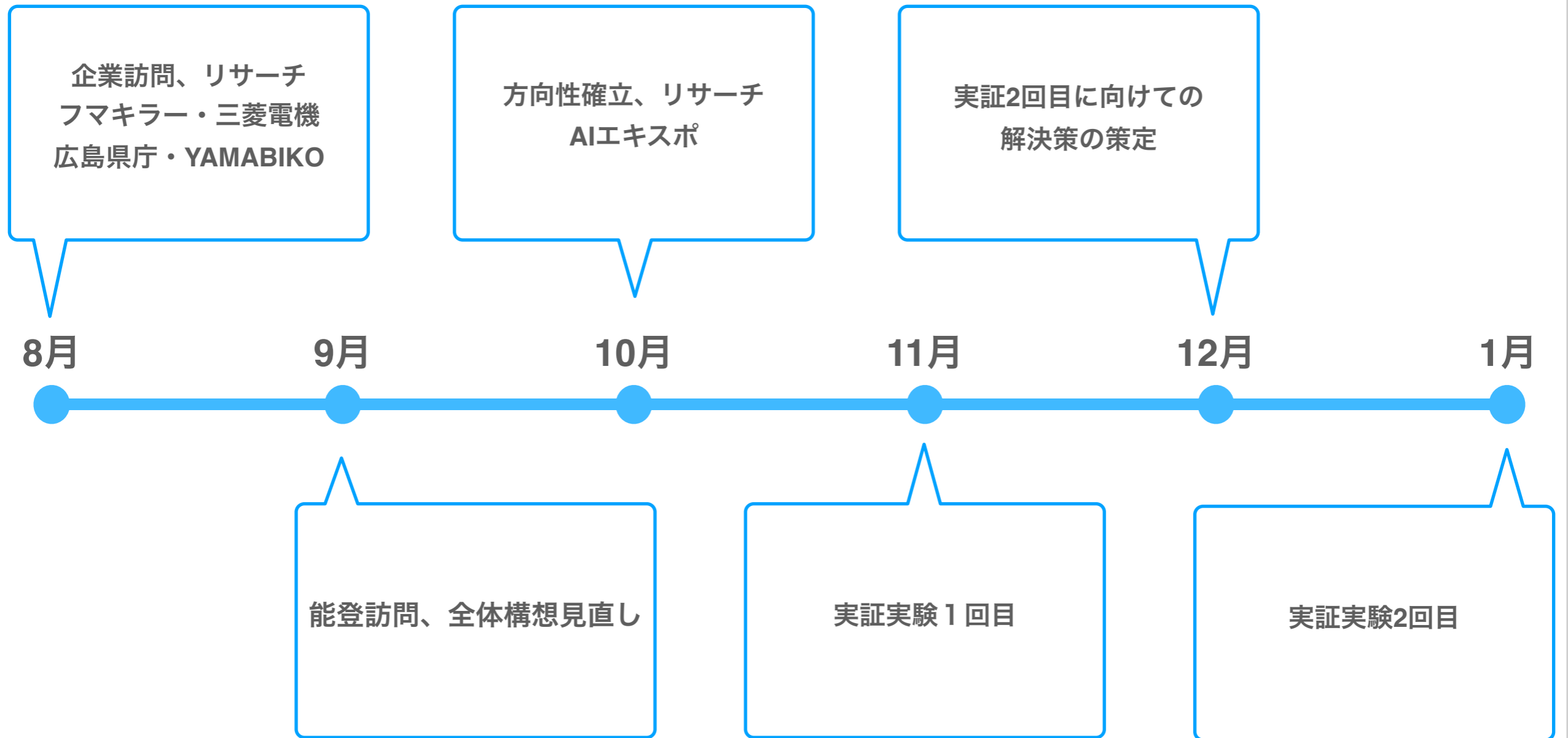
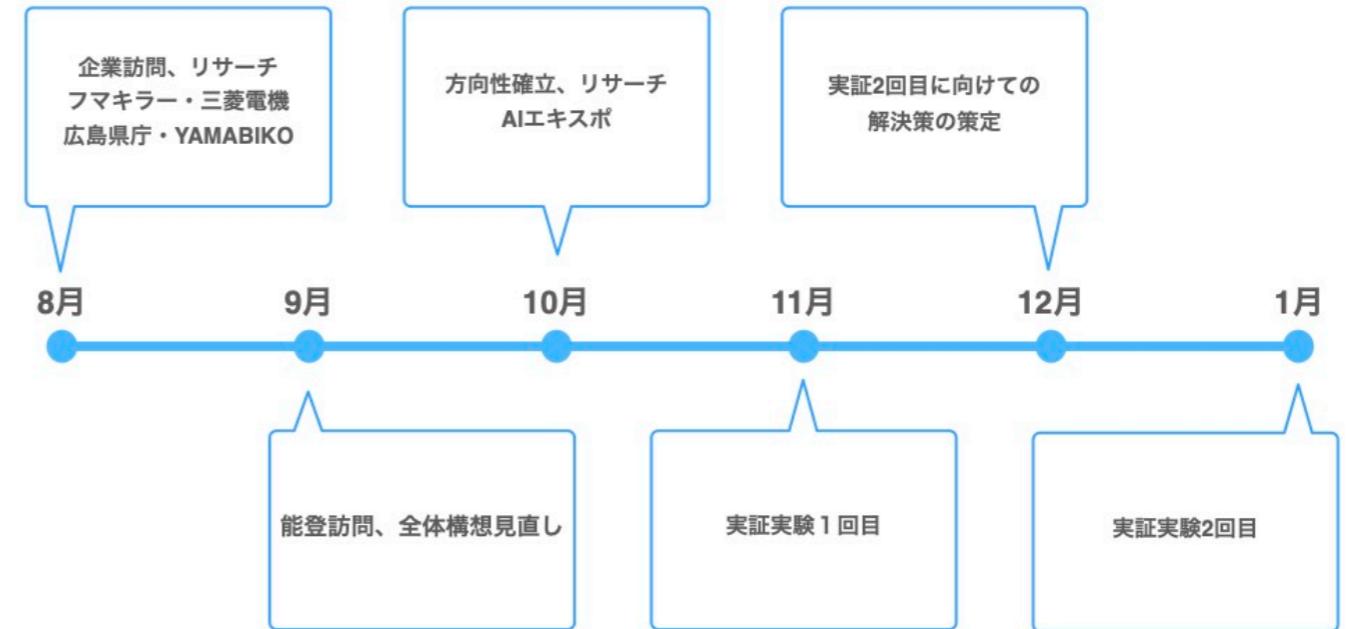


Project Nozuchi





- DAOを作る方向から草刈りの負担軽減の方向性へ
- 協力体制の構築
- 実証1回目に向けての内容を検討中

- ・企業訪問、能登訪問で企業側・現場側の生の声を聞いた
→企業、現場間でのギャップ
- ・協力してくれる企業が出てきた

YAMABIKO

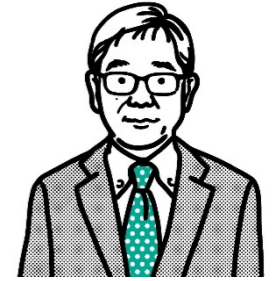


フマキラー

KEYENCE

10月からの課題や 協力を依頼したいこと

- 既存の草刈りロボットを久比の圃場で実際に使ってみる
- 企業の方々に実際の圃場での視察・デモをしてもらい、課題を一緒に考えていく
- その課題に対してどのような解決策があるか（実証2回目に向けて）



316_S_三谷和正

◆ Project nozuchi 「草刈り作業軽減」

草刈り作業～農作業の中で、最も**重労働で苦な作業**、作業軽減策として、一般的に除草剤等の**農薬散布**が多用されている。農薬散布作業中の人体への影響や周辺環境の生物多様性の対応等、**未だに心配事の改善**が必要。

また、ラジコン草刈機等の**農業機械の新開発**も近年行われているが**高額投資が必要**で、全ての農家が導入できる訳ではない。約60年前に開発された刈払い機も改善されてきたが、**人力に頼って人の辛抱の下**、慣行的に草刈り作業が行われている。nounsは、未来に向けて、**持続可能な農業文化のあり方**を考えていく上で、過去の除草剤を用いることなく、草刈り作業全般を軽減できる代替策を探究し、実現していきたいと考えている

- ✓ 8月以降、広島県内を地場企業(草刈機/農薬メーカー等)を中心にAPPOを取り、RING HIROSHIMAの宣伝とProject nozuchi 「草刈り作業軽減」 Project趣旨説明を行い、**協力者/仲間づくり**を実践中【現在も進行形で拡大中】
- ✓ 次STEP～まずは、大崎下島久比「まめな」の小さな険しい柑橘園のリアル現場で、既存草刈機での**実機デモや現状調査**を協力者(**RINGxツバ -も!!**)と協業し、リアル体験
- ✓ 「AIカメラを搭載した除草用のレーザー照射装置 (ガルバノタイプ) の開発」
AIによる植生判別/作業機械の自動化/安全対策等、実現する上で様々なテクノロジー-開発が必要。協力者の力も引き出しながら、いま**実現可能な草刈り代替案での課題解決**と未来型への**テクノロジー-開発**を継続できる体制/仲間づくりを実現する